

6月市議会

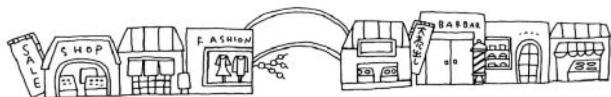
# 最終日(6月26日 午前10時~)を残すのみとなりました

6月7日からはじまった6月議会は、本会議、常任委員会などの日程を終え、26日の最終日を残すのみとなりました。これまでの審議状況、一般質問などについてお伝えします。

## 意見のわかれた議案への賛否

議案名	共	新、公、民、ネ、21、風、世	議決結果
議案第37号 専決処分(羽村市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	X	○	原案可決
議案第38号 専決処分(羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例)	X	○	原案可決
議案第39号 住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行及び外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	X	○	原案可決

X: 反対, O: 賛成 <党派>共: 日本共産党, 新: 新議会市民クラブ, 公: 公明党, 民: 民主党, ネ: 市民ネットワーク「いきいき広場」, 21: 羽村21, 風: 新しい風, 世: 世論



羽村民報 2012年6月24日 発行 羽村民報編集委員会  
No. 1038 責任者 野崎 表  
日本共産党羽村市委員会は、以上の報道をおこないました。 電話 579-2132

## <共産党羽村市議団の討論から>

### ◆議案37号、38号に関して

「住宅用地の固定資産税の評価額は1992年通達で、公示価格の2~3割程度から、7割水準まで引き上げられました。激変緩和のために段階的に税金を引き上げる『負担調整措置』が設けられましたが、その結果、地価が下がり続けても、税負担が増えるという矛盾が生じており、これは問題であり賛成できません。」

### ◆議案39号に関して

「今回提出された議案の上位法に対して、『国が外国人一般にたいする監視を強め、社会的差別や偏見を助長しかねない』との指摘がなされています。また、いわゆる『不法滞在』の外国人が、住民台帳への記載から排除されると、医療や社会保障から締め出される事態となりかねません。」

## 「羽村市生涯学習基本条例」 総務委員会で否決に

18日にひらかれた羽村市議会総務委員会で、羽村市生涯学習基本条例が反対多数で否決されました。反対意見を述べた門間議員(市民ネット「いきいき広場」)は、「市民および団体が生涯学習をおこなう目的に、一定の枠をはめることは問題がある」などを指摘。同じく反対意見を述べた馳平議員(民主党)は、「3月議会へ提案された

ものを取り下げ、今回新たなものを提出した経緯が不透明」などを指摘しました。26日本会議で採決されます。

## 一般質問を終えて—共産党羽村市議団



### ◆倉田まなぶ議員

#### 質問①「高齢者の健康と生活を守る対策を」

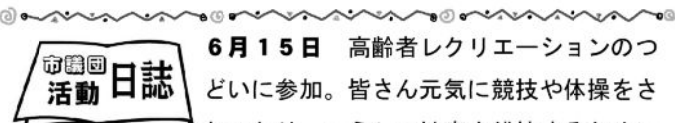
日頃高齢者と接する機会が多く、たくさんの要望をいただいております、その一部を今回取り上げました。

内容は、賃貸住宅で暮らしている高齢者を支援するための制度の実施、小規模多機能居宅型介護の参入の促進、介護職員の認定制度の創設について、そして糖尿病予防教室の実施についてです。

糖尿病は、多くの方が苦しんでおり、身近な方にも大勢います。3月に私の親類が糖尿病で重大な病状になり、糖尿病予防に力をいれなければと改めて実感しました。

残念ながら高齢者対策について良い答弁は得られませんでした。高齢化が進むことが予測されており、高齢者が健康で安心して暮らせる体制を整える事が急務です。引き続き高齢者対策に取り組みたいと思います。

(裏面へ続く)



6月15日 高齢者レクリエーションのつどいに参加。皆さん元気に競技や体操をされており、こうして健康を維持するために

運動していく事が大切だと感じる。指の体操などは普段から簡単におこなえるので皆さんにもおすすめです。(倉田)

6月17日 多摩川近くの宮下グラウンドで行われた市水防訓練に参加。消防署、消防団、市職員らが、万が一に備えての訓練を熱心におこなう。社会にとって最も基本的な仕事だけれども、なかなか目に付きにくい仕事でもある防災の大切さを再認識した。(鈴木)

## 質問②「西口土地区画整理事業について」

地権住民の方は、長年にわたり、この問題に苦しんできました。第二次換地案には404人からの反対署名が提出されており、住民の合意が得られるまで事業を中止する事を求めました。

また、都道3・4・12号線の整備も住民感情を考え、土地区画整理事業の一環としてではなく、東京都の負担で、買収方式で整備する事を求めました。共産党は、一貫して、住民の声を生かし、現在の街並みを生かしたお金のかかり過ぎないまちづくり計画に切り替えることを求めてきました。

市は今後も地権者の理解を得ながら、「着実な推進を図っていく考えである」と姿勢をくずしませんが、国民の負担がますます重くなるばかりの中、市民の税金は市民の暮らしを支えるところに振り分けていくべきだと思います。

## 質問③「奥多摩街道の安全対策について」

奥多摩街道は自転車がよく通行しますが、歩道が片面にしかない場所があり、たいへん危険です。今後拡幅工事が進められていくので、ガードレールの設置やバリアフリー化などの安全対策をしっかりとることを求めました。今後も皆さんの声をよく聞き市政に反映できるよう頑張ります。



### ◆鈴木たくや議員

## 質問①「市民にわかりやすい印刷物を」

市が発行しているさまざまな印刷物を調査し、より市民に情報がきちんと伝わるものへと改善することを提案しました。例えば、「紹介状なしで、

病院にかかるときの初診料」について、市が発行している「乳幼児医療費助成制度手引き」に一応記載はあります。しかし、具体的な記述でないためわかりにくく、「病院に行って、初診料を請求されびっくりした」との声が何人もの市民から寄せられています。この場合は、もっと具体的に記述することなどを求めました。市にもそれら提案は伝わったのではないかと思います。

## 質問②「環境都市はむらをめざそう」

新しく作る「環境基本計画」に、脱原発・自然エネルギーへの転換の視点を盛り込むよう求めました。というのも、福島第一原発の事故は、「羽村市の大気や土壌を汚染から守ること」を一つの柱にかかげた環境基本計画を無残に踏みこじってしまったからです。決して他人事ではないのですが、市の答弁は消極的で、残念なものでした。

また、羽村の堰で「小水力発電」をおこなうこと、夏の省エネのために地域会館を「涼み所」として開放するなどの提案にたいしても、消極的な答弁が続きました。

質問③「学校教育制度について」 中学3年生の我が子の同級生の保護者に「二学期制を評価しているか」と尋ねてみました。23人中、評価する人は3人、評価しない人は20人でした。前期の途中に夏休みがあり勉強に力が入らないこと、部活動の大会は3学期制のスケジュールで組まれているため、部活の試合とテストの日程が重なり、両方をがんばることが難しいことなどがその理由でした。

これらを示し、二学期制の再検討を求めましたが、具体的で納得のいく答弁はありませんでした。

ひき続き、さまざまな問題点を指摘し、また提案をおこない、よりよい市政めざし頑張っていきます。

★無料法律相談は7月10日(火)午後1時半からです。電話でお申し込みください。鈴木たくや080-1058-9450、倉田まなぶ080-3460-0064 までどうぞ。